

# さぐち 佐口よしえの7つの視点

多様なだれもが、つながり・生きがいをもてる社会に

- 1.ひと・くらし 2.働く 3.経済 4.環境・琵琶湖  
5.政策・制度 6.財政 7.憲法

- ・望まない孤独・孤立を防ぎ、希望する独立・自立を応援
- ・子どもが安心して子どもらしくいられる場づくり
- ・子ども医療費無償化、若者支援、ケアラー支援、多様な学びの推進
- ・貧困を減らし、なくす。住まいの確保などセーフティネット充実
- ・女性もLGBTsも男性も、自分らしく生きられる社会へ
- ・障がい・発達障がいの理解を深め、親亡き後を支える仕組みづくり
- ・医療・看護・介護など福祉の人材確保・育成、在宅等看取りの推進
- ・高齢者の活躍・生涯学習・終活の推進、多様化する介護を支える。
- ・地域に点在する民俗なども含む文化財の保護・継承
- ・生(き)の芸術、アールブリュットの推進、文化の価値の再認識
- ・働くことを軸とした安心社会の実現。雇用と働きがいをまもる。
- ・地域経済と雇用の要、中小企業・小規模事業を支える。
- ・データサイエンスの知の集積を活かした新産業の創出
- ・農林畜水産業の振興・ピワイチなど観光(シガリズム)推進
- ・世界で約20しかない古代湖びわこの自然・生物多様性をまもる。
- ・感染症を防ぐワンヘルスの推進・動物愛護の推進
- ・気候危機対策やCO2ネットゼロ(脱炭素)の推進
- ・原発に依存しない、再生可能エネルギーの推進
- ・寄付の専門知識を活かした思いをつなぐ財源確保策の実現
- ・憲法は「国家権力を」しぼり、市民をまもるもの。地方から憲法をまもる。

以上の実現に向けて、佐口よしえは、がんばります！！



「政治はくらし、くらしは政治」  
小さな町工場を営んでいた両親は、高利の借金で長年苦しんだ末に工場を閉めました。その後、裁判例や法律が変わり、両親が命を削るようになり支払っていた借金は、払う必要がなかった、おしろ返金されるべきとされました。ですが、知ったときには時効で返してもらえず、権利は消えていました。今の私の知識があれば、なくても制度がもっと早く変わってれば、両親はもっと長く雇用を守り、経営を続けていたでしょう。政治はくらしです。くらしは政治で大きく変わります。金融政策に限らず、非正規雇用、住宅政策、教育、夫婦別姓、LGBTs、所得制限のあり方など、政治が社会の実態をとらえられていないために苦しんでいる方がたくさんいます。私にとって、そのような方々は、かつての父であり、母であり、私なのです。私たち親子のような思いをする方々をお一人でも減らす。大津から変えていきます。どうか佐口よしえにお力を、貴重な一票をお寄せください。

## 佐口よしえ プロフィール

大津市在住、夫・3人の子供もニワトリと暮らす

- ・大阪府立大手前高校 卒業
- ・関西大学法学部法律学科 卒業
- ・法律事務所事務員兼秘書 大阪3年・大津12年
- ・大津行政書士事務所を開設(2015年～)
- ・滋賀県議会議員(2019年～)
- ・立憲滋賀県連 副代表



HPはこちら  
拡大できます

- 議会活動  
2021年度 教育改革・ICT推進対策特別委員会 副委員長  
2022年度 厚生・産業常任委員会 副委員長 等  
議会質問：子ども・女性・中小企業・農業・文化・気候危機・財源確保策等、12回の定例会全回で幅広く質問

- 所属団体等  
滋賀県行政書士会・大津商工会議所・倫理法人会・打出中学校PTA・JAPAN MENSA(Xカ)等

- 趣味・好きな物など  
学ぶこと、時代行列、天津飯、おそば、紅茶

- 保有資格  
行政書士・FP2級・准認定ファンドレイザー

視点してんはくらし、  
対話たいわと共感きょうかん。



公認  
立憲民主党  
推薦  
国民民主党滋賀県連、社民党  
連合滋賀、チームしが  
さぐち  
佐口よしえ